

鹿児島大学教育学部 同窓会会報

第4号

平成14年10月5日

発行

鹿児島大学教育学部
同窓会

〒890-0065
鹿児島市郡元1-20-6
電話099-285-7711

在学生とのふれあいを

後継者育成事業を検討

第回同窓会総会

平成十四年度第五回同窓会役員総会が去る八月十八日(日)、教育学部会議室で開かれた。

とあいさつし、同窓会の支援を要望した。

新入生と新卒業生が大部分であるので、卒業生全体からの徴収の方法を検討してほしい」という要望があった。

このあと、役員、地域世話役の一部変更が承認されて閉会となった。

私は本年四月、前坂尾隆学部長の後任として、教育学部長を拝命いたしました中山右尚でございます。

鹿児島大学教育学部は、昭和二十四年の新制になりましたから数えても、すでに五十二年という伝統を誇る学部です。それを思うと、身の引き締まる思いでございます。

微力ながら誠心誠意、職務に専念いたします。同窓会会員の皆さまにおかれましては、倍旧のご協力とご声援をお願い申し上げます。

私共、昭和五十六年に鹿児島大学教育学部に着任いたしました。



平成14年度の事業計画を話し合う役員

同窓会役員

○印は新任

顧問	島田俊秀	幹事	橋野奈々代
会長	中山右尚	副幹事	村田孝男
副会長	松元兼俊	監事	増田安和
理事	木佐貫哲	監事	川路郁夫
	池之迫男	監事	住田義久
	上村陸郎	監事	川崎芳夫
	有馬暢洋	監事	川上秀美
	犬馬場茂	監事	辰野吉郎
	下蘭亮子	監事	松山司郎
	榎添利光	監事	福留力
	石神正明	監事	宮田林志
	松元桂子	監事	松崎弘一
	福島嘉久	監事	海江田幸雄
	南孝一	監事	笛田茂
	松永郁男	監事	川井田稔
	今林俊一	監事	羽生昌弘
	佐土原幸一	監事	西生雅弘
	青崎幸一	監事	野間ひろみ

さて、昨今、教育について、特に大学そして教員養成大学・学部に関しましては、社会の注目を集めております。

確かに、大学教育はその大きな変革の時代に遭遇しているのが今日であろうと思えます。大学人としてそして教育学部の一員として、各人がその現代的な使命を確認し、時代と社会の付託に応えることが肝要であることはもちろんのことです。

しかしながら、私たち一人ひとりが育ってきた人生を振り返ると、小学校から大学にいたるまでの間、それぞれの時代の恩師のことが偲ばれます。私たちが人となるに際して、いかに教育者の愛着が私たちを育んでいるかというこ

ろいろな言葉や態度で、これらの徳目を滋養のように与えてくださった恩師のおかげだと私は思います。



人間の究極の徳目に向かって 私たちは邁進します

鹿児島大学教育学部長 中山右尚

本県は全国でも最たる教育県としての伝統を持ち、また、地理的にも多様な教育環境を有するところです。

同窓会諸先輩におかれましては、私どもの如上の目標に對しまして、ご鞭撻とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

豊かな感性とたくましく生きる力を

～平成13年度鹿児島県小・中学校長研究大会から～

昨年度の鹿児島県小・中学校長研究大会は「豊かな感性とたくましく生きる力を育てる学校教育の推進」を主題として、学校週五日制の完全実施と新教育課程の全面実施にそなえ、教育課程の編成・実施と校長の指導性・学校経営上の緊要の課題とその解決策に取り組んだ。



開かれた学校づくりの推進

前加世田市立万世小学校校長

秋・山実嗣

一、はじめに

平成十年度に完成した校舎は、一般教室等と特別教室を電動シャッターで区切られる外、学校全体を車イスで移動できます。また、身障者・母子のための多機能トイレも設置され、特別教室も開放しています。

開放時間は、平日が十九時～二十二時、土曜・日曜・祝日が十時～二十二時です。

昨年度は、ふれあいホール

やパソコン室・図書館・図工室

等を社交ダンス・パソコン・

英会話・焼き物グループ等の

人たちが利用されました。

施設の開放の外に、情報

の開放、地域の人材活用、地

域との交流などにも取り組ん

でいます。ここでは、情報の

開放の中の「インターネット

による情報発信」について紹

介させていただきます。

二、インターネットによる情

報発信の取り組み

ホームページの開設は、平

成十年度です。当初は、簡単

な学校紹介程度でした。

平成十一年度、校内探検・

万小ニュース・校区探検・野

鳥のページ・行事紹介・クイ

ズ等の内容が加わりました。

平成十二年度は、「今週の

万世小」として、その週にあっ

た出来事や、総合的な学習の



「生きる力」を育てる教育課程の編成・実施と校長とのかわり

前指宿市立西指宿中学校校長

稲留照弘

生徒の基礎学力の定着や学校の安全管理体制、生徒の安全確保など、学校が取り組まなければならないことは多岐にわたっている。学校のみで解決できるものではない、家庭、地域及び関係機関との連携の在り方も課題である。

生徒の実態を調べると、①起床行動で、自分で・目覚まして起きる四四・五三%②朝食を食べる七六・八二%③平日のテレビ視聴時間二時間～三時間三六・四四%④魚、

チョウなど昆虫を捕まえたことがない一〇・二〇%⑤星をゆつくりみたことがぜんぜんない四・一七%⑥道路・公園などに捨てられているゴミを拾ったことがない八・二五%など、生徒を取り巻く環境の問題も深刻になっている。

各学校ではゆとりの中で生きる力を育んでいるが、昨年度ある地区の教育課程編成・実施に当たって、課題や問題点を把握してみると次のようなことであった。・教職員の意

識改革の問題・学校行事の厳選・総合的な学習の時間の在り方・特色ある教育の展開・学校週五日制と家庭地域の教育回復等であった。また、「生きる力」に対して何を重点的に取り組んでいるかについて、学力向上・心の教育の充実・教職員の資質の向上・生徒の主体性を重んじる特別活動の充実・落ち着いた教育環境と家庭・地域との連携・自分自身の存在をそして身近な人々や郷土を実感を持つて

時間の取り組みの様子などを発信するようにしました。平成十三年度は、学校教育目標等のページを加え、目指す子供像とのかかわりで子供たちの様子を紹介し、学校教育目標具現化へ向けた取り組みが分かるようにしました。また、電子メールを使った交流や、小・中連携も視野に入れたテレビ会議システムを使った交流学習などにも取り組んできました。

こうしたことから、自分たちでもホームページを作って発表したいという意欲が高まり、学習への興味・関心が高まってきています。また、県外の学校との交流も生まれつつあります。

さらに、保護者の方が学校の教育活動を知る機会が増え、楽しみにしてくださるようになりました。そして、本校職員が講師となり「おやじ

の会」によるパソコン同好会が発足しました。また、卒業生の方からは、自分の学校を懐かしむ気持ちや、自分の後輩たちへの期待が寄せられています。しかし、多様な情報取得・発信が行われる反面、不適切な情報や、危険な働きかけ、プライバシーの漏えいなどにより、児童が被害を受ける可能性もあります。また、情報手段の不適切な活用や著作権の使用で、加害者になることも考えられます。

そこで、セキュリティガイドラインを作成させ、児童の写真的掲載等を含め、安全面については十分な注意を払っているところとあります。そのため、校長室からいつでも閲覧できるようにしてあります。

一方、児童のモラルの高揚を図っていく必要があります。また、PTAのページを加え、長としての信念と情熱、また、決断力や行動等の管理職の資質や教師の教師としての手本等、全てにわたってリーダーシップを発揮して、公教育の使命を果たす実践力を養うことが大切である。

総合的な学習の時間での取り組みを述べると、本校では総合的な学習の時間の中で育みたい力を①自己表現力を高める②学び方を身につける③自分のよさを見つけ自信を持つ④人との違いを認める思いやりを持つという目標を設定した。それを支える各教科の基礎的な事項の定着、実践に結びつく話し合い活動やボランティア活動、文化祭などの表現活動、人権同和教育を全校体制での学習、及び、環境、福祉、国際理解

その内容の充実を図っていくことも必要かと考えます。さらに、児童一人ひとりにメールアドレスを持たせて校内でメール交換をしたり、テレビ会議システムを使って他校との合同授業や交流を行うたりすることなどを、さらに進めていく必要があります。三、おわりに

開かれた学校づくりについては、開放性と安全性の両立という難しい課題もあります。しかし、開かれた学校を推進する目的は、学校や家庭を含む地域全体で子育てをしていくということかと思えます。したがって、今後も安全面には十分配慮しながら、また、警察や地域との連携を深めながら、児童の安全確保に努めるとともに、開かれた学校の理念を生かした取り組みに努めて参りたいと思えます。(現川薩教育事務所指導課長)

を各学年ごとのテーマとする総合的な学習の時間の全体計画を作成し、職員の共通理解・共通実践化を推進させている。更に、評価の在り方も、保護者や生徒への評価情報が結果を教師の一方的に知らせる性格を、生徒や保護者に意図的、計画的に日常的に授業の取り組みの事前・事後において、それらの目的や方法、その成果等を説明するように、評価の共有化を図るようになっている。

自分自身のリーダーシップの発揮は自ら変わる事と考え人格的にも尊敬され、教育現場の実践に基づく研究と教養を持ち備えていく事であると思う。(現吉松町立吉松中学校校長)

寄稿



学校におけるコンピュータ利用の現状と課題

園屋高志

鹿児島大学教育学部教授

私の現在の主な研究テーマは、コンピュータやインターネットを学校教育にどのよう

1. 学校でのコンピュータ利用の現状

周知のように本年四月から小・中学校では新学習指導要領が実施されているが、その

また、ミレニアムプロジェクトの「教育の情報化」によれば、二〇〇五年度を目標に、

わかつていく。

今後その活用が推進されていくものと思われるが、その一方では、全学校で必ずしも十分に活用されているとは

「貴校では教育用コンピュータが十分に活用されていると思

2. コンピュータ利用についての教師の意識

さて、上述の活用されない理由は種々あると思われるが、コンピュータ利用について

一方、私が鹿児島県内の小・中学校教師を対象に調査した結果では、コンピュータ

せたくない。

(2) コンピュータを使う場合、コンピュータならではの使い方を必要がある。

「確かに研修も大切であるが、ただ研修を待っている

一方(2)については、私はそうは思わない。「コンピュータを使う場合、コンピュータならではの使い方

「コンピュータならではの使い方をする必要がある」というのは、よく耳にすること

(1)自分がコンピュータを研修してからでないと、児童・生徒にはコンピュータは使わ

は、たとえそれがコンピュータを使わなくても黒板やOHP

3. 今後の課題

上述の私の考え方の趣旨は、とにかくまず使えるところ

今後の研修は、これまでの操作演習主体から、コンピュータやインターネット

教師に望むものである。

平成13年度決算書

1. 収入の部

Table with 4 columns: 事項(区分), 予算額, 決算額, 増減額. Rows include 前年繰越会費, 預金利息, 合計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 事項(区分), 予算額, 決算額, 増減額, 備考. Rows include 事務経費, 会議費, 事業費, 総会準備基金, 予備費, 合計.

※収入決算額 9,577,777円-支出決算額 1,072,172円=8,505,605円 (14年度へ繰越)

平成14年度予算

平成14年度事業計画

- 会報第4号の発行
同窓会総会の開催準備作業の継続
後継者育成事業の開発『教育を語ろう会「どうする鹿児島の教育」』
鹿児島大学創立五十周年記念事業募金の寄付

予算

1. 収入の部

Table with 3 columns: 事項(区分), 予算額, 備考. Rows include 前年繰越会費, 合計.

2. 支出の部

Table with 3 columns: 事項(区分), 予算額, 備考. Rows include 事務経費, 会議費, 事業費, 総会準備基金, 募金, 予備費, 合計.

教育学部の課題

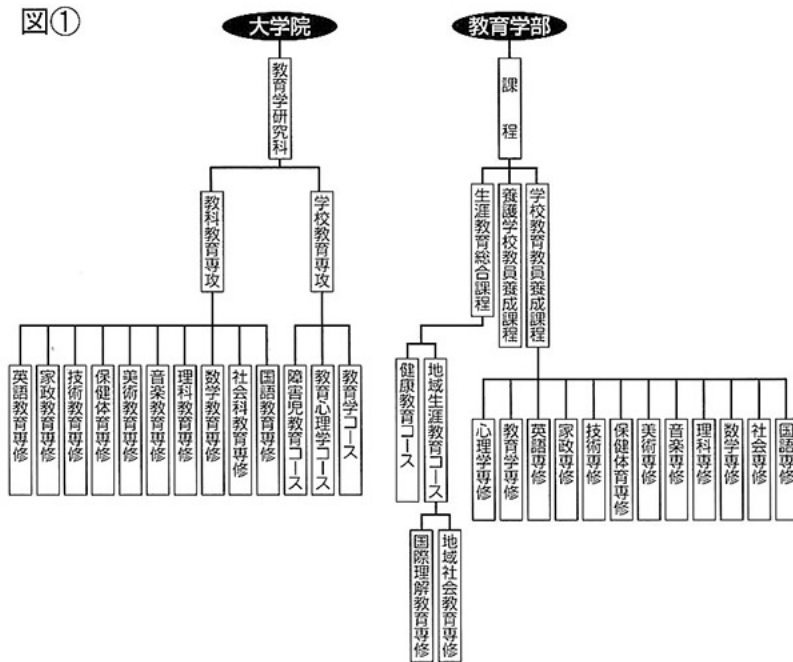
教育学部は、明治十八(一八七五)年設立の小学校授業講習所に始まり、鹿児島師範学校を経て、昭和二十

四(一九四九)年鹿児島大学教育学部として改革されてから五十二年、二十一世紀の初頭に当たり、国立大学の改革の動きと同時に、教育学部の統廃合が現実の問題となってきた。

教育学部は、平成九年度から従来の課程が大幅に改組された(図①)。現在、学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、生涯教育総合課程で二百七十五名の学生と、大学院生三十八名が学んでいる。

平成十三年度の卒業生専修別就職状況は図②の通り。約三六%の卒業生が教員として就職したが、教員養成課程、生涯教育総合課程で二七五名の学生と、

図①



図② 平成13年度卒業生専修別就職状況(平成14年7月1日現在)

専修	卒業生	教員就職者	企業等就職者	大学院	その他
国語	20	7	1	2	10
社会	19	5	7	3	4
数学	21	17	1	2	1
理科	20	7	5	1	7
音楽	18	12	4	0	2
美術	19	7	3	3	6
保健体育	41	10	23	3	5
技術	16	6	2	4	4
家政	19	9	3	1	6
英語	12	6	4	1	1
教育学	20	6	3	2	9
心理学	18	1	8	3	6
障害児教育	17	11	4	1	1
地域社会教育	15	1	10	0	4
国際理解教育	10	1	5	1	3
健康教育	16	2	5	3	6
計	301	108	88	30	75

同窓会会則

平成10年1月25日制定

- 名称**
第一条 本会は鹿児島大学教育学部同窓会と称する。
- 目的**
第二条 本会は会員相互の親睦、母校の発展と教育の振興を図ることを目的とする。
- 組織**
第三条 本会は次の会員を以て組織する。
1. 正会員 鹿児島大学教育学部卒業生、同修了生、同専攻科及び同大学院教育学研究科修了生
2. 準会員 教育学部学生
- 並びに大学院生**
第三条 特別会員 教育学部教職員及び旧教職員
- 役員**
第四条 本会は本部を鹿児島大学教育学部内に置き、支部を必要の地に置くことができる。
第五条 本会は第二条の目的を達成するため、原則として次の事業を行う。
1. 会員名簿の発行
2. 会報の発行
3. その他、本会の目的を達成するために必要な事業
- 役員**
第六條 本会に次の役員を置く。
会長一名 副会長二名
顧問若干名 理事若干名
監事一名 幹事若干名
支部世話役 若干名
役員は会員の中から選出する。
- 運営**
第七條 役員は会員のうちから選出する。
第八條 会長は会務を総理し、副会長及び理事は会長を補佐して会務を掌理し、監事は会計監査を行い、幹事は会務を処理する。
第九條 本会は毎年総会を開き、出席者を以て成立と認める。その他必要を認めた場合に臨時総会を開く。
第十條 各支部は、四月現在を以て会員の住所、氏名、職業及び支部の状況を報告する。
第十一條 会員は、その職業及び住所等に異動を生じたとき、改姓名をした場合は、本部に報告しなければならない。
- 会計**
第十二條 正会員は終身会費として金一〇、〇〇〇円を納付しなければならない。
第十三條 本会の運営に必要な経費は、終身会費及び雑収入を以てこれに充てる。
第十四條 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。
第十五條 毎年度の収支決算は、総会において報告する。
第十六條 本会則の改正は、総会の決議を要する。
- 附則** 本会則は、平成十年二月一日より施行する。
細則 1. 第四条の支部は鹿児島、揖宿川辺、日置、川薩、出水、伊佐、始良、曾於、肝属、熊毛、大島の地区に置く。
2. 第五条第1項の会員名簿の発行、第2項の会報の発行については、状況に応じて実費を徴収する。
3. 第十二条の終身会費は入学時に徴収する。

憧れの大学に入学して



学校教員養成課程保健体育専修
椛ヶ瀬 学

私はこの春に鹿児島大学に入学しました。私は島根県出身なのですが、そんな私がなぜ鹿児島大学を選んだかという点、一つの大きな理由は県外に出て、全く知らない土地

でたくさんの人達と出会うことによってさまざまな経験をして、自分の視野を広げたいと思ったからです。

このことを前提として大学を探しました。そんな中で私は、鹿児島大学教育学部保健体育学科は定員が多いので、最初から多くの人達に出会う機会が多いと考えました。しかも伝統があり、絶対に行きたいと思えました。必死に勉強し、その甲斐あって憧れの大学に入学することができました。

早いもので、四月に島根県浜田市から西鹿児島駅に着いて、雄大な桜島を見上げてからもう五カ月という月日があつという間に過ぎました。

その間、大学での講義や実技に戸惑いながら、また夕方からは柔道部活動に汗を流しながら、勉強に部活に毎日暇がなくて、とても忙しい日々が続いています。しかし、そのような日々のお陰で大学入学後に無気力になってしまいう通称「五月病」とよばれる病に罹ることもなく、とても充実した生活を送ることができています。

そして、保健体育科生だけでなく、教育学部以外にも、学部を超えてたくさんの方と出会えました。

これからも、この鹿児島島の地で多くのことに積極的に挑戦をして、人間的に大きく成長したいと思っています。

編集後記

同窓会報第四号をお届けします。「北朝鮮」「拉致」「国交正常化」「悲惨」の活字に心を奪われながら編集。

▼ご多忙の中、原稿依頼を快くお引き受けくださった皆さま、ありがとうございます。

▼同窓会も早第五回目の役員総会が開かれ、今後の課題も明確になってきました。

▼新卒者の就職状況から、教員養成学部の使命とは何かが問われています。

▼各卒業年度ごとの世話役の方、各年度ごとの同窓会の動向を左記へご連絡ください。会報も余分にありますので、ご連絡ください。(池)

教育学部同窓会事務局
(099)128517711